



ボロブドゥールの仏教遺跡

蔵王山安善寺

◆編集・発行人◆
近藤龍弘

〒940-0052
長岡市神田町1丁目4番10
TEL.0258-32-2811

◆スタッフ◆

小林国二・小林善秋・高橋潔
室賀清輝・高橋利春・加瀬由紀子
近藤マリ子・近藤真弘・近藤善信

後援・株式会社アサヒ
印刷・(株)北越時報社

ご家族の皆さままでご覧ください

世界最大級の仏教遺跡 「ボロブドゥール」を再度拝観して

翠巖 龍弘

私も今年六十五才になりますが、ある程度物心がついてからの人生で今年ほど二月に入ってから降雪の多さ、寒い日が多かったことはありませんでした。

厳冬の日本列島でしたが、三月の聲を聞くと急足に春の萌しを感じられてまいります。

上の写真はインドネシアのジョクジャカルタにあるユネスコの世界遺産に登録されている、世界最大級の仏教遺跡「ボロブドゥール」です。

昭和四十八年からユネスコ主導のもとで修復工事がはじまり、急ぎよ長岡市仏教会主催のボロブドゥール参詣の団参が昭和四十九年二月に計画され、私も参加させていただきました。今回は三十八年ぶりの二度目の拝観でした。

インドから東南アジアに

伝播した仏教は、一般に部派仏教(小乗仏教)と呼ばれるものでしたが、ボロブドゥールは日本に伝播された仏教と同じく大乘仏教の遺跡です。ボロブドゥールは、一番下に基壇があり、その上に五層の方形壇、その上に三層の円形壇があり、全体で九層の階段ピラミッド状の構造になっています。仏教の三界(欲界・色界・無色界)をあらわしておるとされます。

欲界とは、五官の欲の存在する世界で、六欲天・人間・畜生・餓鬼・地獄・修羅等がこれに含まれます。色界とは、色界四禪という禪定が行われる世界で、そこには物質的なもの(色)はあっても、感官の欲は除かれ、瞋恚もない世界。無色界とは、物質的なものもなくなって、純粹に精神のみがある無念

無想の禪定の世界です。

基壇が欲界で、衆生の日常生活などのレリーフが彫られ、五層の方形壇の回廊のレリーフは、釋迦の生誕から最初の説法にいたるまでの経緯についてなどが詳細に表現されており、三層の円形壇にはレリーフはなく、幾何学的な建築意匠によって抽象的な悟りの境地が示されており、人は下から上へ登っていくにつれ、欲望にあふれ、罪悪に満ちた世界から、禪定に住する世界へと移っていく、全体でいわば石上に凶解された教典とも呼ぶものとなっており、ボロブドゥール全体が巨大な立体曼荼羅であるという説が有力であります。

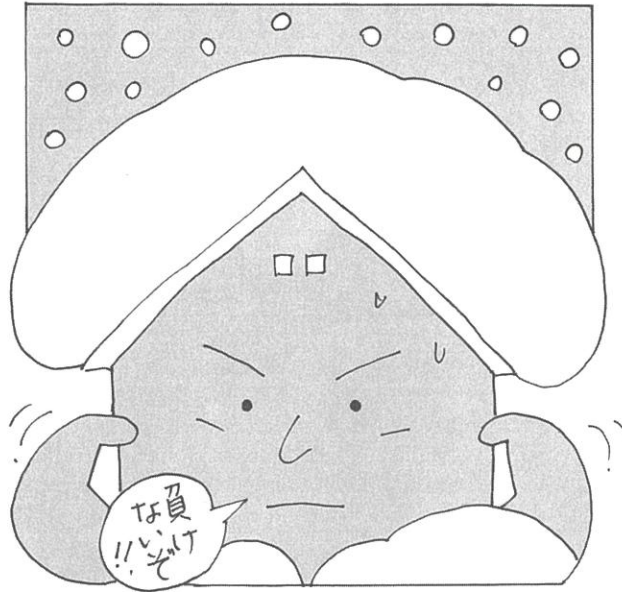
そんなせいか、アンコール遺跡とは違った心の落ち着きを感じられ、機会があれば再度拝観したいものです。

其の以す所を視、其の由る所を觀、其の安んずる所を察すれば、人焉くんぞ度さんや。『論語』

【日々精進(十六)】

修行僧と一緒切磋琢磨

近藤 真弘

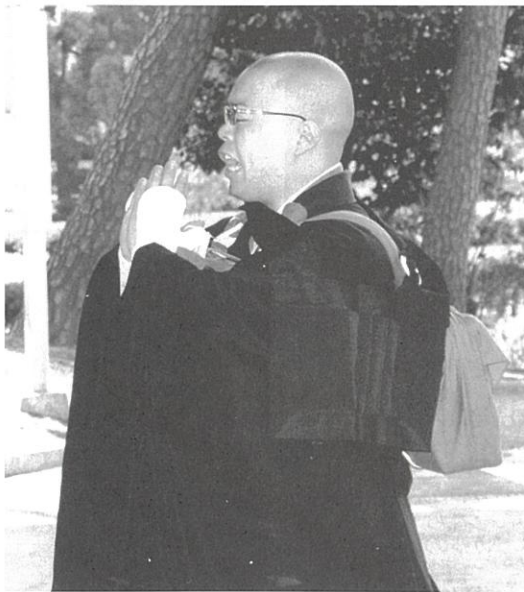


ひと際雪の多かった冬も
終わり、過ぎしやすい春の季
節がやって参りました。とは
言っても私はこの冬を横浜
で過ごしたのでほぼ雪を感
じることなく冬が終わりま
した。時折安善寺に帰ると、
まるで別世界の雪景色で改
めて雪国に住む人々の大変
さや忍耐強さを感じました。

さて本山總持寺では、ま
だ寒さの厳しい二月中旬か
ら三月いっぱいにかけて、
例年の如く全国から多くの
修行僧が新たに門をくぐり
修行生活に入りました。修
行僧が上山の許しを乞う待
鳳館の玄関から木版三打と
共に「上山よろしゅー」の大
声が山内に響き渡り、また

新たな風が本山に入る実感
がいたします。

新たに上山する修行僧は
上山の前日に安下処とい
うところで身支度を整え、簡
単な所作進退を教わります。
私はお役柄、今年の新到和
尚が上山する際の安下処の
担当役寮となり、その日、安
下処に到着した新到和尚の
様子を見に伺い、上山に対
しての心構え等を迎える立



10年前の修行僧として上山の許しを乞う時の姿

場として話をさせていただ
く機会を頂きました。

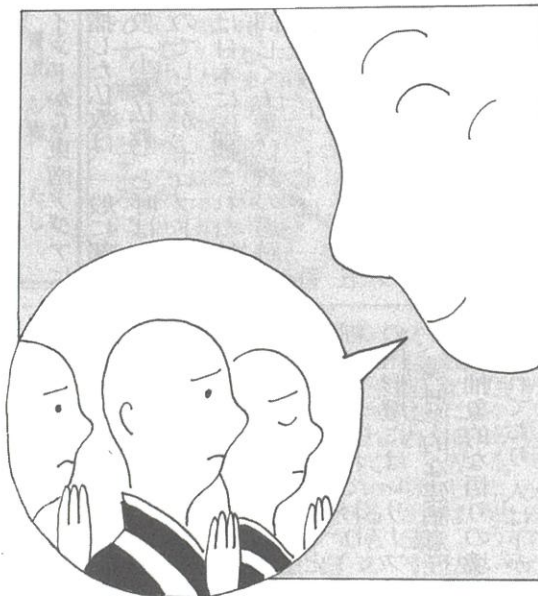
それぞれが決意を胸にこ
こ總持寺にやってきた新た
な修行僧は皆、当然のこと
ながら緊張と不安を抱いて
いる事が取って伺え、自分
自身が十年前に同じように
その場にいた事が思い出さ
れ、その時の自分だったら
どんな言葉をかけてもらっ
たらと考えるながら、その時

の自分を思い返し、話をさ
せていただきました。

總持寺は言うまでもなく
曹洞宗の御本山であり、毎
年多くの修行僧が掛搭いた
します。自分が修行僧とし
て總持寺に上山する際は、
諸縁を放捨してすべてを御
本山に任せる所存でその門
をくぐりました。修行が長
く続き、所謂古参として新
たな修行僧を迎えることは

て身を置いていた時とは比
べるまでも無く責任感を感じ、
それでいてやりがいも感
じるところでした。

今、ここ總持寺では志新
たな修行僧を迎え、新しきに
感化されるではありません
が、とても緊張感のある時期
を迎えました。初心を忘れべ
からずの気持ちを持った修
行僧に自らの初心を思い出
させられる気分です。



ありましたが、立場が変わり
、役寮といういわば学校でい
う教員の立場で新たな修行
僧を迎えることは願って
も無い良縁であると共に、当
然のことながら修行僧とし

新社会がスタートするこ
の時期に私も初心を思い出
し、今置かれている立場で
新たな修行僧、そして今
いる修行僧と共に切磋琢磨し
ていきたいと思えます。

テグ世界陸上観戦記

—テグの人たちの人情は厚かった—

沼田金之

また世界陸上観戦に行ってきた。場所はお隣韓国のテグ。陸上競技そのものは、ポルトで始まり(1000mフライング失格)、ポルトで盛上がり(200mで圧勝)、ポルトで終わった(400mリレーで世界新達成大会であったが、ここでは、その際ちょっと気になったところ(中国大躍進)と、似て非なる国「韓国」について書いてみた。

一. ちょっと気になったところ「中国大躍進」

女子円盤投げ優勝の李艶鳳、女子ハンマー投げの張文秀(3位)、男子の110mH劉翔(2位)のカムバック等々選手の活躍もさることながら、これまで日本企業の独壇場だった大会スポンサーに初めて中国企業SINOPEC(中国石油化工集団公司)が入ってきた。応援団も大挙してやってきていたし、帰路立寄ったソ

ウルでは大型観光ツアーが街中を闊歩していた。これ即ち経済力の裏返し。今後韓国の街に漢字の案内板が溢れるのも時間の問題とみた。

二. 似て非なる国「韓国」
(一)世界陸上観戦準備
チケット発売日に大会HPの販売画面が立上がついていない。購入の確認もEメー



世界陸上の競技場

ルが一本来たのみ。二〇〇七年大阪二〇〇九年ベルリンが四日以内にきちんと郵送で来たのとは大違い。

宿泊場所もテグ市内はすべてが大会関係者のためにブロック。しかたなく隣の慶山市にある民宿を手当て。六月突如として大会副委員長から席移動要望のEメールが届いた。メディア席になるとのこと。更に、チケットの事前郵送なし。

(二)初めから言つてよ

競技場には、移動面替所、移動郵便局、無料ポストカード、無料ミネラルウォーターサービス、プレミアムシート用無用デイリープログラム提供、各所に英語、日本語の通訳配置等々さまざまサービスが完備。素晴らしかった。ただ、案内が不十分。知っていれば街中の方々歩いたり、余計な買い物も不要だった。

(三)厳格であるべきものとそうでなくてもいいものとが逆?

競技場の入場セキュリティは楽、荷物検査も簡単。しかるに席付いてる無料食事券については厳格、持た



韓国人ジャーナリストの文珍日さんと

ぬ者は一切受入れず。

(四)人はあくまで親切

ソウルは何度か訪れ、韓国を多少わかった気になっていたが、とんでもない誤り。テグは日本語も英語も全く通じず。大会途中宿を市の中心テグ駅前のホテルに移したが、フロントは相変わらず韓国語以外解せず。だがとても優しいいい人達だった。

競技場では知り合った人達(地元おばさん軍団、女性ジャーナリスト)は、それぞれ希望する観光に連れて行ってくれた。

帰路ソウルに一泊。 Hiltonホテルに宿を取り、素晴

らしい韓国料理も堪能してきたが、今思えば一番懐かしいのはテグの人達の人情。

慶山市の民宿↓テグ駅前のホテル↓ソウルのヒルトンホテル、まるでマレーシアの田舎↓クアラルンプール↓シンガポールと移動したような感じであった。

二年後の世界陸上はモスクワ開催。これも仕事で随分行ったいい街だが、食べ物、人情含めこのテグが大変懐かしと思うだろう!

テグ、そしてテグの皆さん、本当にお世話になりました。ハムサムニダ!

旬歌 愁灯

[拡大版]

大冒険！カラコルム

「その二」『K2への遙かな道』

加瀬由紀子

カラコルムハイウェイ(KH)の悪路を車はひた走り、ナラン高原のホテル着深夜十一時。遅い夕食に食欲も失せ、平らなベッドで眠れるだけでも有り難いと目を閉じれば、あつという

間に朝五時のモーニングコール。朝食を急いで済ませ、六時出発。相変わらず、岩と砂と申し訳程度の草や灌木の道を車は走る。ヤギを連れた遊牧民の集団を幾つも追い越

して、越えるバブサル峠標高四一七三M)は八月でも雪模様で、厳しい自然に住む人々に敬服してしまう。昼過ぎにチラスに到着。人口五万人の通りに、女性を全く見かけないのは、厳しいイスラムの教義ゆえか。昼食のレストラン「ジャングリラ・インダス・ビュー

教徒たちが、川幅の狭くなったチラス周辺でインダス川を渡河する際に描いた、と言われている。レストランから見下ろすインダス川は、幅百Mほどで灰色の激流だ。二八〇キロ、下流域の平野を潤し、アラビア海に注ぐ。

てダム工事が始まり、このホテルも水没するそうで岩絵も遠い記憶の中に沈んでしまうのだろうか…。

そこでKKHを離れ、更に断崖の悪路を百キロ、北の目的地スカルドゥへ向かう。折しもラマダン中で、ドライパー氏は朝から何も食はず、ブツ通しで十一時間運転をしたことになる。スカルドゥのホテルに着いたのは九時過ぎでまたも遅い夕食になる。標高二千Mの盆地の夜は快適だったが、汚れたトイレに落ち着けず、水の出ないシャワーで風邪をひいてしまった。

翌朝、ホテルの窓から差し込む陽に外を見ると、インダス川の対岸に雪を頂く、



K2を背にツアー13名と現地スタッフ

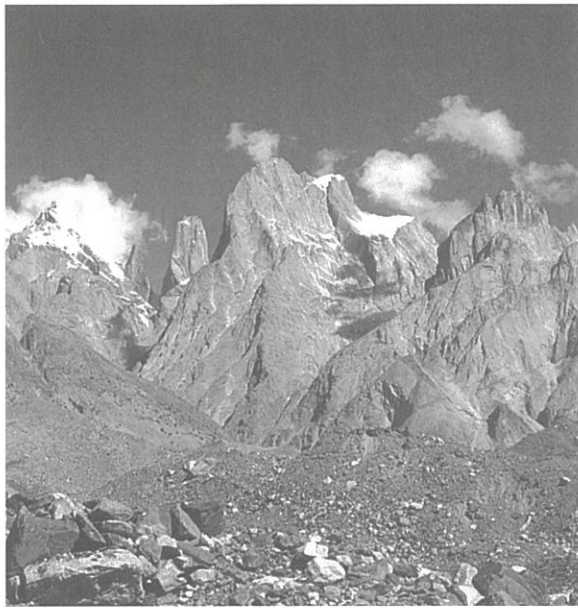
「ときに、昼食に立ち寄ったこのホテルに帰りに宿泊するとは…(つまり帰りも飛行機には乗れなかったのだ)この時点では誰も予想しなかったのだが…」チラス近郊の街道沿いに仏像や動物、記号等の描かれた岩絵がある。四世紀頃、シルクロードを越えて中国からガンダーラを目指した仏



クレバスに注意しながらの氷河登行

チラスから再びKKHに合流し、百キロほどでインダス川とギルギット川の合流地点に着く。「ジャンクシジョンポイント」でヒマラヤ山脈、カラコルム山脈、ヒンドウクシュ山脈の分岐点で、「世界の屋根」の芯に立つ訳だ。暗れていけば世界第八位の高峰、登山家メスナーの「魔の山」で知られるナンガ・パルパット標高八二五M)の白亜の峰を望むことができる。

同病 相憐れみ、同憂 相救く。『呉越春秋』



6000メートルのトランゴ岩峰群

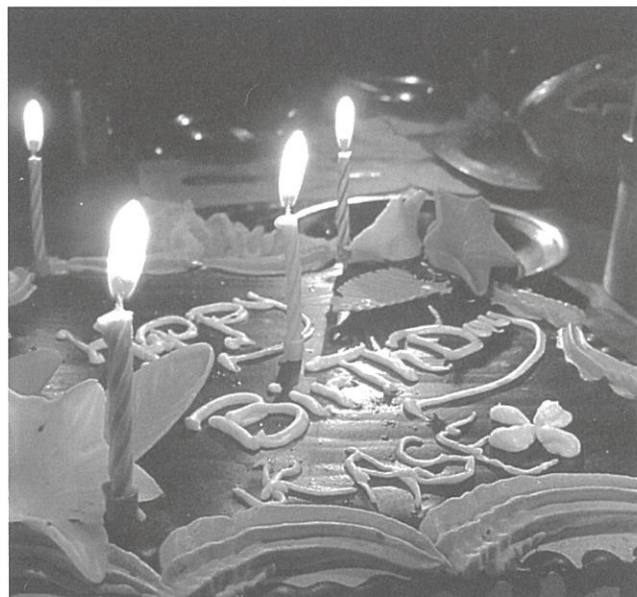
山がそびえたつ絶景に唖ってしまふ。この日は標高四千Mのデオサイ高原に、ジープで高度順応ハイキング。束の間の休養日となった。既に草原の高山植物は枯れていて、山から下りてくるヤギを追う遊牧民たちとすれ違う。短い夏が終わわり、もう早い秋の訪れだ。

冬は五〇センチほどの雪に覆われ氷点下三〇度にもなるという、バルティスタンの中心の町スカルドウ。朝三時になると、大音量のアザンが流れ、敬虔なイスラム教徒がメッカの方向

に向かつて祈りを捧げる町に別れを告げ、翌日は最奥の村、アスコレへ移動。ジープに分乗、KKHは何とない道路だったかと誰もがため息をつく。一車線ぎりぎり、二百M下は渦巻く濁流のすさまじい悪路だ。さすがのジープも時々停車、全員下りて回転を上げて乗り越えたり、土砂崩れの土砂を人力でどかしたり、と百キロの距離に六時間も費やして、到着した最初の幕营地アスコレ。標高五八〇〇Mの雪を被ったパコルダスが目前に見える。

鶏の群れが賑やかで、大勢のシャルワルカミーズの男達が仕事をもらいに集まっている。サーダー(ポーター)頭が手際よくポーター達の担当分けをして翌日の荷物の手配も決まる。大きな食事テントのテーブルを全員で囲み、静かな夕食。そのはず、さきほどの鶏達はお皿にフライドチキンとなっていた。夜が明けていよいよ往復百九十キロ、二十日間のトレッキングが始まった。(十三

四時間)激流のピアホ川に架かる木の吊り橋を渡り、ブラド川沿いの崖道を上下する。ピアホ氷河を横切り、鉄製の橋を越えればトイレもあるジョラ。テント泊二日目。



下山中、9月14日の誕生日をケーキで祝っていただきました

テント泊三日目はスカムツオク(八・五時間)。川沿いの上下高を繰り返して、岩雪崩の音にびくびくしながら雨の中、眠りにつく。四日目(八・六・四時間)ヤナギの木の茂る標高三四五〇Mのバイユに到着。ここで二泊し、ポーターを休ませ、他のポーター達が更

に先へと荷揚げに急ぐ。それにしてもポーターはよく働く。ツアー一人を十人のポーターが支える勘定だが、日給は何と一日、四百円!

在してもK2は見えなかった。」と嘆く。翌七日も氷河の上下高で(五・四時間)標高四千Mウルドカスの岩の傾斜地に幕営。この夜から湯たんぽが

トレッキング六日目(一〇・八時間)にやっと氷河に上がる。さすがに日陰の風は冷たい。氷河の隅の狭い台地がコボルツエの幕营地。六千Mのトランゴ岩峰群が雨あがりの雲の中から尖塔のように現れた。先発ツアー組の下山とすれ違う。「三日間滞

配られる。外はみぞれ。八日目の幕営はゴレII。(十二・一・七時間)氷河上のテントは寒さでなかなか寝付けぬ。しかも頭痛と息苦しきは高山病の症状だ。盛んにガイドから深呼吸を勧められる。マッシュブルム、ムスタグタワー等の七千M名峰が続々見える。九日目。(十三・六時間)氷河のクレバスに落ちていた怪我した馬。可愛そうだが、そのまま見捨てられるという。自分が落ちないよう

に歩くのが精いっぱいだ。ついに目的地、コンコルディア(標高四八〇〇M)に到着。雲ひとつない晴天だ。ガッシャブルム一峰、二峰、ブロードピークの八千M高峰群の奥、バルトロ氷河の果てにひときわ高いカラコルムの盟主、急峻な岩肌の所々に雪を抱いたK2が青空に忽然とその姿を現した。涙ぐむ人、思わず抱き合う人。歌い、踊って祝ってくれるポーター達、祈りを始めるポーターも。この感激を得られた幸運に感謝!

私の人生観

小林十代次

朝起きるとカーテンを開け、佛間に明りをつけ、戒名をめぐり、お水を取り替えることが日課となりました。

一昨年暮れ、病院で胃癌の手術をしました。主治医、看護士さんのお世話になり、また、友人、身内のお見舞いなど激励されました。特に分家の善秋さんには再度見舞っていただき「父ちゃんが倒れると本家が大変だから、無理をせず早く元気になつてもらいたい」と言われたことが、いまだに耳に残っております。

お陰さまにて一ヶ月ぐらい入院し無事退院となりました。通院はしておるものの、なんとか二冬を越えるべく頑張っております。昨年六月頃迄おかゆを食べ、その後、徐々に普通のご飯を少しずつ食べるようになりました。三食の他に中間食を必要とし、一日六食の食生活が続いております。いまだに抗癌剤を服用し



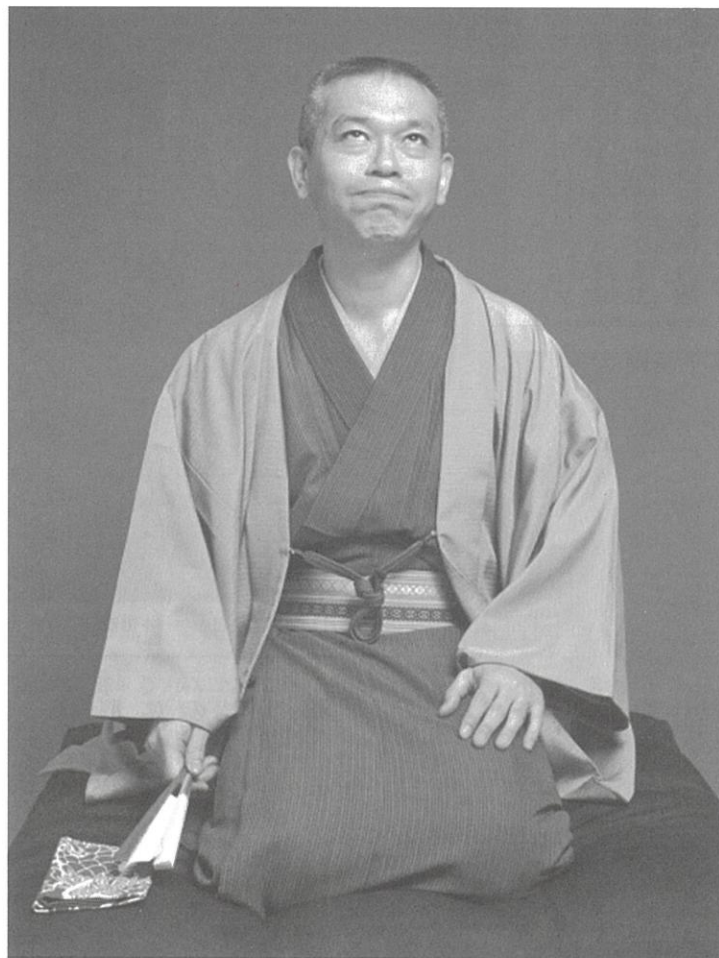
ておりますが、昨年の夏場には誘われるままゲートボール、グランドゴルフなどの練習や大会に参加しております。

人間は気力、体力、精神力があれば病に負けず生活がでると思い、命のある限りは公共の仕事やボランティア活動に取り組み、前向きで行きたくと思っております。

んが、やがて春が来て、野良に出て太陽の光を浴びながら農作業に励むのを楽しみとして、これからの余生を送りたいと思っております。

檀家の皆さん、お元気な方は別ですが、病に負けず前向きに、無理をせず病気とお付き合いしながら過ぎしてくださるよう、人生を送ってください。この季刊紙を通じて私見ではありますが書かせていただきました。

第十六回KAKA笑の会 今度は「落語」です！



第十六回KAKA笑の会
は、なんと落語会。
長岡出身の落語家「入船亭扇辰」さんをお迎えして安善寺本堂での落語をお楽しみください。

いただき楽しい一時をお過ごしください。詳しくは安善寺まで。

落語が大好き！という方はもちろん、あまり聞いたことのない方もぜひお越し

- 日時 六月二十三日(土) 午後六時開場
- 会場 安善寺本堂
- 会費 二千円

【プロフィール】
昭和三十九年、長岡生まれ。長岡高等学校卒業。国学院大学文学部を経て平成元年九代目入船亭扇橋に入門。前座名「扇たつ」平成五年、二つ目に昇進「扇辰」と改める。平成十四年、真打ち昇進。
主な出演作品
「あの芸にあいたいNHK」
「BSふれあいステージお好み寄せ(NHKBS2)」
「味いちもんめ(テレビ朝日)」
他多数

龍弘流 読者との Q&A (パートII)



Q 仏教には多くの仏像がありま
す。また、釋迦如
來・阿彌陀如來とか、觀音菩
薩・地藏菩薩とか、不動明王
や帝釈天・大黒天など、「如
來」「菩薩」「明王」「天」など
いろいろありますが、違い
はあるのでしょうか？ ま
た、仏像は釋迦如來の時代か
らあったのでしょうか？



A 仏像はもとも
とは仏教をはじ
められたお釋迦
如來の像のことでした。お釋迦
如來が亡くなられた当時は、偶
像否定という考え方が世間
を支配しており、釋迦如來を
つくることは禁じられてお
り、人々は仏像の代わりに、
仏塔や仏足石、法輪、菩提樹
を拜んでいました。しかし、
お釋迦如來の姿を見たいとい
う人々の願いで、釋迦如來「仏
像」がつくられるようにな
り、その後釋迦如來だけでなく、
仏(如來)像や菩薩像、明

王像などがつくられました。

仏像はふつう如來、菩薩、
明王、天の四つのグループに
分けられますが、如來は仏
像そのもの、菩薩はその志
願者、明王は如來、菩薩を守
る怒れるほとけであり、その
どれにも属さないほとけ様、
いわばその他大勢的なほと
けが天であります。

もう少し詳しくいうと、如
來は仏教上の最高の状態に
ある存在で、悟りをひらいて
輪廻の束縛から脱して、永遠
の安らぎの境地に達して仏
陀となられた者です。如來の
部には釋迦如來・阿彌陀如



來・藥師如來・大日如來が
属しております。

菩薩とは菩提薩多ともい
われ、さとりを求める者とい
う意味です。もともとは
仏陀の生前の呼称であった
のですが、転じて「さとりを
求めて自ら修行し、一切衆生
をして、さとりに安立せしめ
んとする自覚修行者」の意で
あるといえます。

普賢菩薩などがいられます。
明王とは、大日如來の教
令を受けて忿怒身を現じて
もろもろの悪魔を降伏し、
国土・人民とうを擁護し、

佛法僧の三宝を守護する諸
尊、教化しがい衆生を折
伏して救済するという、卓
越した力で一切の障害を調
伏するほとけ様で、不動明
王などの五大明王・愛染明
王・烏枢沙摩明王・大元師
明王などがあり、孔雀明王
のみは慈悲相であります。
天とは如來・菩薩・明王
のどこにも属さないほとけ

お別れ

(平成廿四年一月〜二月末まで)

- 大倉丸幸様 一月七日寂 長岡市平島
- 竹田雅彦子様 一月八日寂 長岡市新町
- 油崎シズ様 一月九日寂 長岡市寿
- 品田章蔵様 一月九日寂 長岡市柳原
- 高木國昭様 一月十日寂 長岡市稽古町
- 小倉健一様 一月十六日寂 長岡市大島本町
- 渡辺文雄様 一月廿六日寂 長岡市宝町
- 八重沢文様 一月廿七日寂 長岡市中沢
- 丸山十八六様 一月廿七日寂 長岡市花園
- 利根川義治様 一月十四日寂 長岡市美園
- 品田 勇様 一月廿三日寂 長岡市美沢



ご冥福をお祈りいたします

様たちが天部の諸尊です。
この諸天は、もともとバラモ
ン教やその他の宗教からと
りいれられたもので、異教出
身の神々が仏教の中に安住
の場をえて、多くの人々か
ら信仰されております。

男女の区別があるものも
天部の特徴で、また他の仏
さま方にはみられなかった
鎧や兜を着けた武神として
表現されております。これら
の諸天は仏教を守護され、仏
教世界の東西南北を守護す
る四天王(持国天・增長天・
広目天・多聞天)、釋迦を守
護する梵天・帝釋天と八部
衆、藥師如來を守護する十二
神将、門を守護する金剛力士
などや、女性像としては、吉
祥天・弁才天・伎芸天・鬼子
母神などがおられます。

ボブの独り言

雪、猫はコタツで丸くなる…

ボブの独り言

来る日も来る日も、どうしたことでしようか？ 春の訪れなど忘れたかのようによく雪が降り続きますね！今は何処の自宅でもそうでしょうけれど、住職も朝一時間以上も雪掻きをしています。

そんな中、時間が分かるのでしようか？ 午前八時過ぎと午後四時近くになると犬のノンがバーバのところに行つてジーっと目で何かを催促しているのです。「早く外に出て遊ぼうよ！」つて言っているのだと思いません。バーバは重い腰をあげて立ち上がるとノンは一目散に外に出ようとしますが、降り積もる雪を見てバーバは多分「今日はちょっと遊ぶの止めようよ」つて心の中で思っている様子が私にもわかるのです。でも、防寒着を二枚も重ね、ゴム手袋をして、日によ



つては櫓を履いてノンちゃん遊び場を作つてからボール投げをして遊んでいる姿は何とも気の毒になりませんが、バーバは遊び始めると、まんざらでもなさそうに「何で雪玉だと走らないのに、ボールだと走るの？」なんて、結構楽しそうな声が聞こえてきます。

先日もある人に「犬を飼っている」と大変でしょ？」つて聞かれ「犬を飼う前は年に一、二回は風邪とかで寝込んでいましたが、飼つてから十年以上も風邪も引いたことがないんですよ」と話している声が聞こえてきました。毎日の運動も兼ねて体に良いのかも知れませんね！ その手伝いは私には出来ないのですが…。

編集 雑感

一歳半になった真人君も二、三段なら手も使わずにらくらくと上り下りしたり、廊下は走っているのです。が、言葉の方はなかなかで、私を呼ぶのも床を叩いて、手でおいでおいでをするのです。時には頭をなでて可愛がつてもらったり、時には尾を握つて振り回されたり、でも側に居たいので、じつと我慢しています。

梅の花の便りが聞けるようになりました。雪もまだ沢山ありますが、昼間は暖かく感じられようやく春。今年は雪解けが遅れるかなと心配しております。

そんなある日、側にいると思つていたのに姿が見えなくなり、探したらお仏壇の前でお供えしてあるご飯をおろして口の周りをご飯粒だらけにして食べているではありませんか。その姿に皆で大笑いでした。

雪が融けると境界杭も顔を出します。境界杭の打つてないところは顔を出しようにも出せませんが、当たり前です。無いところには無

雪が融けたら益々目が離せなくなりそうです！

ニヤーン

雪が融けると境界杭も顔を出します。境界杭の打つてないところは顔を出しようにも出せませんが、当たり前です。無いところには無

お便り原稿用紙

季刊誌では、壇信徒・読者の皆さまと、ごいっしょに誌面をつくりながら、コミュニケーションを深めたいと思います。ハガキまたはお手紙、ファックスなどで、お気軽にお便りをお寄せください。お待ちしております。

原稿の例

- 思い出話／ご家族、ご先祖、お寺の思い出話など。
- 私に言わせて／家事や子育てのお話、身近な出来事など。
- 教えてください／仏事のしきたりや疑問（編集部や住職がお答えします）など。
- 嬉しい・楽しい嬉しかったこと、悲しかったこと、怒ったこと。

いんですから…。土地家屋調査士という職業柄、土地の境界について少し話したいと思えます。土地の境界とは各個人（または法人）所有地と隣接地との境のことを指していますが、家を建てたい、工場を建てたいが境界が見つからない、土地を相続して売りたいのだが境界杭が無いなど、土地の境界については困ったことや分からないことが色々あると思う。始めに境界とは、法務局で登記され、登記簿や公図等に現されているものが公法上の境界（筆界）と、自分で勝手に土留めや塀を造って自己主張している私法上の境界（所有権界）とがある。これが一般的には一致している場合が多いのですが、異なっている場合もあり、それが隣接者との紛争となり問題となります。雪が融けご心配な方は知り合いの土地家屋調査士にご相談してみたいかがでしょうか？ 土地境界一口メモでした。

（高橋利春）

世に処するは一步を譲るを高しと為す。歩を退くるは即ち歩を進むるの張本なり。『葉根譚』

第五十八号、夏号は平成二十四年七月十日（火）発刊予定です